

令和 5 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち 2 教科以上を含む 6 教科を選択して受験してください。
3. 氏名、受験番号を「令和 5 年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
4. 受験番号、選択教科をマークしてください。
5. 「解答カード」の中で、特に受験番号、選択教科の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
6. 解答は、全て「解答カード」の選択教科の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
7. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
8. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 180 分です。
9. 試験が終わるまで退室できません。
10. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
11. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
12. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。[マーク例]
13. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
14. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

(よい例) ●

(悪い例) ○ ○ ○ ○

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	10
3. 算 数	16
4. 理 科	23
5. 生 活	28
6. 音 楽	34
7. 図画工作	38
8. 家 庭	46
9. 体 育	52
10. 外 国 語(英語)	59

国語

問 1 「小学校学習指導要領」の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示された「話し言葉と書き言葉に関する事項」に基づく当該学年の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第2学年の児童に、文や文章を書く際、句読点を適切に打つことを理解させるため、原稿用紙に書いた感想文を読み返して、意味のまとまりを考えながら句読点を打つよう指導する。

イ 第3学年の児童に、ローマ字の読み書きについて理解させるため、日常使われている簡単なローマ字で表されたものを読み、ローマ字を書くことに慣れるよう指導する。

ウ 第5学年の児童に、平仮名と片仮名で書く語の種類を理解させるため、平仮名で書かれた外来語や和語について、片仮名での表記がふさわしいものを選ぶよう指導する。

エ 第6学年の児童に、話したいことが相手にうまく伝わるように、姿勢や口形、発声や発音に注意するとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方にも注意するよう指導する。

問 2 「小学校学習指導要領」の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕(2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示された「情報の整理に関する事項」に基づく当該学年の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第2学年では、共通や相違などの情報と情報との関係について理解させるため、話合いの中で出た意見を仲間分けしたり、比較したりしながら、内容を整理するよう指導する。

イ 第3学年では、辞書や事典の使い方を理解させるため、漢字辞典を使って新出漢字の読み方や成り立ちなどを調べ、各索引を効果的に活用して辞書を引くよう指導する。

ウ 第4学年では、情報と情報との関係を捉えさせるため、新聞記事を使って、身の回りの出来事話す活動の中で、原因と結果の関係に着目して話すよう指導する。

エ 第5学年では、図書館で情報を集める際は、網羅的に書き出すのではなく、必要となる語句を適切に判断して、書き留めるよう指導する。

問 3 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A 話すこと・聞くこと」の(1)に示された指導事項に基づく第3学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「聞きたいことを考えて, しつ問しよう」という単元である。3年生になって初めて出会う友達もいる中で, 友達からたくさん話を引き出すために, どんな質問をすればよいかを考え, 互いに質問し合う活動を行う。

- ア 友達が話す内容を漏らさず聞き取るためには, どのような順序で質問を組み立てていけばよいかを考えるよう指導する。
- イ 友達から聞いた内容のうち中心となる事柄を書き留め, 更にどのような質問を加えるのがよいかを考えるよう指導する。
- ウ 友達のよいところやがんばっている点などをうまく引き出すために, どのような質問の仕方をすればよいかを考えるよう指導する。
- エ 友達から聞きたいことを聞いた後, 聞いた内容と自分が知っている友達に対する印象とを比べてどのように考えたのかを書き留めるよう指導する。

問 4 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)に示されている指導事項に基づく第5学年の学習活動である。この学習活動の後に指導する内容として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「調べたことをまとめよう」という単元である。SDGsの視点から、「私たちの海を守ろう」という目標を設定して、海洋問題等に関わる統計資料を集め、調べたことを基に自分の考えをまとめて書くための指導を行っている。これまで、総合的な学習の時間において、SDGsの考え方を学習し、図書館の資料やインターネットの検索によって、自分の考えを裏付ける資料を収集させる指導を行ってきた。

- ア 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確になるように書くことが大事なので、主に調べた資料から分かったことを中心に据えて書くよう指導する。
- イ 集めた資料は全て紹介することが大事なので、資料に沿って文章の構成を考え、様々な情報を順序立てて分かりやすく書くよう指導する。
- ウ 自分の考えが読み手にしっかり伝わるように書くことが大事なので、図表やグラフと文章とを対応させながら、説得力のある文章を書くよう指導する。
- エ 自分の考えをはっきりさせて書くことが大事なので、集めた資料を比較したり分類したりしながら、伝えたいことが読み手に理解されやすいように書くよう指導する。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」の(1)には、次の内容が示されている。この内容をねらいとした当該学年の具体的な指導として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。

ア 説明的な文章を読む際、他の文章と比較するなどして読み、分かったことや考えたことを文章にまとめながら、目的に応じた論の進め方について考えるよう指導する。

イ 説明的な文章を読む際、題名や見出し、図表や写真なども手掛かりにしながら、事実と感想、意見などとの関係を叙述に基づいて押さえ、文章全体の内容をつかむよう指導する。

ウ 説明的な文章を読む際、「まず」、「次に」、「やがて」など、形式段落をつなぐ言葉に着目しながら段落相互の関係を確かめ、結論とその理由や具体例などの内容を捉えるよう指導する。

エ 説明的な文章を読む際、各段落の中にある大事な言葉を見付けながら、それらの言葉を用いて段落ごとに要約し、理解した内容を精査・解釈しながら自分の考えをまとめるよう指導する。

問 6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今後の人類は目先の結果だけでなく、先々までよく考えてから行動しなければならぬ。人類全体としても個人個人も、叡智を働かせて、何が本当の進歩であるかを見きわめなければならない。私は以前から人間の創造性という問題に深い関心をもっていた。創造性が発揮できれば、いちばん強く生きがいを感じられるのである。特に学者である私は、だれもわからなかったことをわからすこと、新しい真理を発見することを生きがいにしてきた。しかし創造性には自己規制がともなわねばならない。人類社会における科学技術の発達が、社会自身の暴走と破滅をもたらさないように、自己制御する、そういう意味の科学技術の進歩、それが今後の世界の本当の進歩というものであろう。

孔子は論語の中で「A」と述べている。極端に言えば、昔の学者は自分が真理を知るために学問したが、今の人は立身出世や見栄のために学問しているということである。つまり社会から一方的に、他律的に規制されているだけでは、本当に学問することにならない。学問とはまず自分の知りたいことがあって、それを探求することであり、自分が知ることがやがて、それを他人にもわけ与えることになる。そこで自分のためであると同時に、人のためにもなる。そういうことであると思う。

（湯川秀樹 『湯川秀樹 詩と科学』）

上の文章中で、筆者が述べている内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自己規制をしながら創造性を発揮し、新しい発見につなげることは、多くの学者にとっての生きがいと言える。
- イ 本当の学問とは、自分にとって知りたいことを追究することであり、そうした姿勢をもつためには他律的な規制が必要である。
- ウ 本当の進歩とは、今後科学技術が発達しても社会自身の暴走や破滅を生んでしまわないか、人類がよく考えることである。
- エ 創造性を発揮して科学技術を進歩させても、自己規制がなければ、社会自身の暴走と破滅につながる危険性をはらんでいる。

問 7 問 6 の文章中の傍線部「行動しなければ」の文法的説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「行動し」(サ行変格動詞未然形) + 「なけれ」(助動詞仮定形) + 「ば」(助詞)
- イ 「行動し」(サ行変格動詞連用形) + 「なけれ」(形容詞仮定形) + 「ば」(助詞)
- ウ 「行動」(名詞) + 「しな」(五段動詞未然形) + 「けれ」(助動詞仮定形) + 「ば」(助詞)
- エ 「行動」(名詞) + 「し」(サ行変格動詞未然形) + 「なけれ」(形容詞仮定形) + 「ば」(助詞)

問 8 問 6 の文章中の空欄

A

 に入る漢文を書き下し文にしたものとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 古の学者は己に如かず、今の学者は人に如かず
- イ 己を知りて真理となし、人を知りて学問となす
- ウ 古の学者は己の為にし、今の学者は人の為にす
- エ 学べば即ち己の知る所となし、願へば即ち人の知る所となる

問 9 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

おのれ古典をとくに、師の説とたがへること多く、師の説のわるき事あるをば、わきまへいふこともおほかるを、いとあるまじきこと、思ふ人おほかめれど、これすなはちわが師の心にて、つねにをしへられしは、後によき考への出来たらんには、かならずしも師の説にたがふとて、なはゞかりそとなむ、教へられし

(本居宣長 『玉勝間』)

上の文中で、筆者が述べている内容に当てはまるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 師の説に悪いところがあってもわきまえて振る舞うのが、師の教えである。
- イ 師の説であっても悪いと思ったら悪いと言うことこそが、師の教えである。
- ウ 師の説と異なるよい考えを生み出すことが大事というのが、師の教えである。
- エ 師の説をあるまじき考えだと言う人を正しく導くことこそが、師の教えである。

問10 次の一首は、問9の文中の傍線部「なはゞかりそ」で用いられている「な～そ」を用いて詠んだ短歌である。この短歌の解釈として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【短歌】

春の鳥な鳴きそ鳴きそあかあかと外の面の草に日の入る夕

- ア 春の鳥よもっと鳴いておくれ。窓外の若草を真っ赤な色で夕陽が染めている楽しい夕暮れであることよ。
- イ 春の鳥よもっと鳴いておくれ。窓外の若草を真っ赤な色で夕陽が染めているもの^{かな}哀しい夕暮れであることよ。
- ウ 春の鳥よ鳴いてくれるな。窓外の若草を真っ赤な色で夕陽が染めている楽しい夕暮れであることよ。
- エ 春の鳥よ鳴いてくれるな。窓外の若草を真っ赤な色で夕陽が染めているもの哀しい夕暮れであることよ。

社 会

問 1 小学校社会科においても、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進めることが求められている。次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項」の記述の一部である。文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

主体的・対話的で深い学びは、必ずしも 1 単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。単元など内容や時間のまとまりの中で、例えば、主体的に学習に取り組めるよう学習の ① を立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや ② できる場面をどこに設定するか、③ によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか、学びの ④ をつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で授業改善を進めることが求められる。

	①	②	③	④
ア	見通し	変容を自覚	対話	深まり
イ	見通し	成果を可視化	思考	方法
ウ	仮説	変容を自覚	思考	方法
エ	仮説	成果を可視化	対話	深まり

問 2 第 3 学年の内容「身近な地域や市区町村の様子」を扱う単元の学習で、身近な地域や市の様子について、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることにした。次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 1 節 第 3 学年の目標及び内容」の記述の一部である。文中の空欄 ① ， ② に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることとは、身近な地域や市の様子について、地図や写真などの資料で市の ① ， 土地利用， ② などを観察したり調べたりして、白地図などにまとめることである。

	①	②
ア	位置や地形	主な産業
イ	位置や地形	交通の広がり
ウ	名称と位置	主な産業
エ	名称と位置	交通の広がり

問 3 第4学年の内容「人々の健康や生活環境を支える事業」を扱う単元で、関連する施設や事業所を見学したり、地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして、県の白地図や図表などにまとめる学習を行った。このような学習活動を通して理解する、「人々の健康や生活環境を支える事業」に関する事項として、『小学校学習指導要領解説』の内容を踏まえて適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められている。
- イ 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っている。
- ウ 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められている。
- エ 廃棄物を処理する事業は、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守るために役立ってきた。

問 4 第5学年の内容「貿易や運輸」を扱う単元の学習で、日本は多くのエネルギー資源を海外から輸入していることが分かり、原油、石炭、液化天然ガスの主な輸入先を調べた。次の表は、日本における原油、石炭、液化天然ガスの輸入先(2020年)上位5か国を示したものであり、表中のア～エは、アメリカ、オーストラリア、サウジアラビア、ロシアのいずれかである。オーストラリアに当てはまるものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	原油	石炭	液化天然ガス
1位	ア	ウ	ウ
2位	アラブ首長国	インドネシア	マレーシア
3位	クウェート	イ	カタール
4位	カタール	カナダ	イ
5位	イ	エ	エ

『日本国勢図会 2022/23年版』より作成

問 5 第 5 学年の内容「我が国の産業と情報との関わり」を扱う単元で、「大量の情報を情報通信技術で収集し活用すること」について調べる学習を行った。この学習に関する記述として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ビッグデータは、大きな動向を把握し、新たな市場の開拓や災害時の避難対策など国民生活の向上のために利用されるため、収集した個人情報を匿名化することは必要とされていない。

イ 多くの企業のコンピュータ同士がつながり、個々の企業が蓄積している情報などが共有されている状態を IoT(Internet of Things)という。

ウ 電子商取引(e コマース)、電子マネーでの決済、POS システムなどに必要となる機器の総称を、デジタル・デバイドという。

エ 現在の個人情報保護法は、個人情報の保護に関する国際的動向や情報通信技術の進展等を勘案し、3年ごとに必要な見直しを行うこととされている。

問 6 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年〕 3 内容の取扱い」に関する記述である。各文中の ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ・金属工業、① 工業、化学工業、食料品工業などの中から一つを取り上げること。
- ・情報や情報技術を活用して発展している ② ，運輸、観光、医療、福祉などに関わる産業の中から選択して取り上げること。
- ・地震災害、津波災害、風水害、火山災害、③ 害などを取り上げること。
- ・大気汚染、水質の ④ などの中から具体的事例を選択して取り上げること。

	①	②	③	④
ア	繊維	生産	雷	汚濁
イ	繊維	販売	雪	悪化
ウ	機械	生産	雷	悪化
エ	機械	販売	雪	汚濁

問 7 第 6 学年の内容「グローバル化する世界と日本の役割」を扱う単元で、「小学校学習指導要領」に基づく学習指導の在り方に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 我が国の国旗と国歌の意義を理解し、これを尊重する態度を養うとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を養うよう配慮する。

イ 我が国とつながりが深い国から数か国を取り上げ、児童が 2 か国以上を選択して調べるよう配慮する。

ウ 我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養うよう配慮する。

エ 世界の人々と共に生きていくために大切なことや、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりできるよう配慮する。

問 8 第 6 学年の内容「我が国の歴史上の主な事象」を扱う単元で、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建築物や絵画を手掛かりに、今日的生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解する学習を行った。この頃の建築物や絵画として取り上げることが適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 東大寺南大門

イ 銀閣

ウ 龍安寺石庭

エ 水墨画

問 9 第 6 学年の内容「我が国の歴史上の主な事象」を扱う単元で、殖産興業・富国強兵に関わる出来事を調べて年表にまとめる活動を行った。年代の古いものから順に配列して 2 番目に当たるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 地租が地価の 2.5 % に引き下げられる。

イ 貨幣制度が定められ、円が単位とされる。

ウ 富岡製糸場がつくられる。

エ 徴兵令が出される。

問10 次の文は、ある社会の姿について述べたものである。関係する用語として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会

ア ディーセント・ワーク

イ ワーク・ライフ・バランス

ウ ワークシェアリング

エ ワーカーズコレクティブ

算 数

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 算数科の目標及び内容 第1節 算数科の目標 1 教科の目標 (2) 目標について」の記述の一部である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

算数の学習において、「 ① 」を働かせながら、知識及び技能を習得したり、習得した知識及び技能を活用して ② したりすることにより、生きて働く知識の習得が図られ、技能の習熟にもつながるとともに、 ③ の課題を解決するための思考力、判断力、表現力等が育成される。そして、数学的に考える資質・能力が育成されることで、「 ① 」も更に成長していくと考えられる。

- | | ① | ② | ③ |
|---|------------|-------|-------|
| ア | 数学的な見方・考え方 | 課題を探究 | 日常の事象 |
| イ | 論理的思考力 | 問題を解決 | 日常の事象 |
| ウ | 数学的な見方・考え方 | 問題を解決 | 数学の事象 |
| エ | 論理的思考力 | 課題を探究 | 数学の事象 |

問 2 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 算数科の目標及び内容 第1節 算数科の目標 1 教科の目標 (2) 目標について」の「統合的・発展的に考察する力」に関する記述の一部である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

算数の学習において数量や図形の性質を見だし、数理的な処理をすることは、それらを統合的・発展的に考察して新しい算数を ① を意味しているともいえる。算数を統合的・発展的に考察していくことで、算数の内容の本質的な性質や条件が明確になり、数理的な処理における ② も図ることができる。また、物事を関係付けて考察したり、他にも適用したりしようとする態度や、新しいものを発見し物事を ③ に捉えようとする態度を養うことも期待できる。

- | | ① | ② | ③ |
|---|------|-------|-----|
| ア | 創ること | 思考の鍛錬 | 相補的 |
| イ | 創ること | 労力の軽減 | 多面的 |
| ウ | 導くこと | 労力の軽減 | 相補的 |
| エ | 導くこと | 思考の鍛錬 | 多面的 |

問 3 次の①～④は、乗法・除法を用いて答えを求める文章題であり、A～Cは、乗法・除法を用いる問題の構造を示したものである。文章題と乗法・除法を用いる問題の構造の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【文章題】

- ① 牛肉を 1.6 kg 買うと代金は 2,400 円です。この牛肉 1 kg の値段は幾らでしょう。
- ② 70 枚の折り紙を 1 人に 5 枚ずつ配るとき、何人に配ることができるでしょう。
- ③ 1 m の重さが $\frac{3}{5}$ kg の鉄の棒があります。この鉄の棒 $\frac{3}{4}$ m の重さは何 kg でしょう。
- ④ 120 km 先の目的地まで車で行くのに 2 時間かかります。この車は時速何 km で進んでいるでしょう。

【問題の構造】

- A 「基準にする大きさ(基準量)」と「割合に当たる大きさ(比較量)」から「割合」を求める問題
- B 「基準にする大きさ(基準量)」と「割合」から「割合に当たる大きさ(比較量)」を求める問題
- C 「割合に当たる大きさ(比較量)」と「割合」から「基準にする大きさ(基準量)」を求める問題

[解答群]

	①	②	③	④
ア	C	A	C	B
イ	A	C	B	A
ウ	C	A	B	C
エ	B	C	A	B

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 算数科の目標及び内容 第 2 節 算数科の内容 2 各領域の内容の概観 B 図形 (3) 『B 図形』で育成を目指す資質・能力」では、「図形を構成する要素に着目して、図形の構成の仕方について考察すること」について説明されている。このことと関連する指導内容と学年の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【指導内容】

- ① 対称な図形の性質に着目して、対称な図形を構成する方法
- ② 平行、垂直といった 2 直線の位置関係に着目して、平行四辺形、台形、ひし形を作図する方法
- ③ 辺の長さに着目して、二等辺三角形、正三角形を作図する方法

[解答群]

	第 3 学年	第 4 学年	第 6 学年
ア	①	②	③
イ	②	①	③
ウ	②	③	①
エ	③	②	①

問 5 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 6 学年〕 2 内容 C 変化と関係」に示された、身に付ける知識及び技能として正しくないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。
- イ 反比例の関係について知ること。
- ウ 比例の関係の意味や性質を理解すること。
- エ 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。

問 6 「小学校学習指導要領」の「D データの活用」領域では、目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現するという統計的な問題解決活動が重視されるが、統計的な問題解決活動として「問題－計画－データ－分析－結論」という段階からなる統計的探究プロセスが知られている。次の表中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

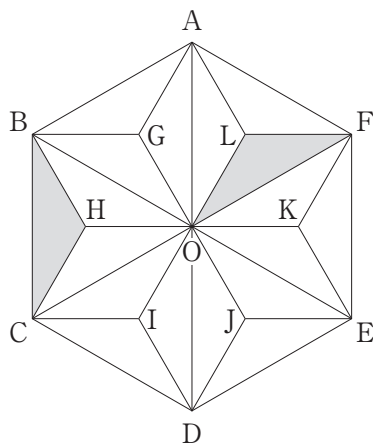
問題	・問題の把握	・ ①
計画	・データの想定	・収集計画
データ	・ ②	・表への整理
分析	・グラフの作成	・特徴や傾向の把握
結論	・結論付け	・ ③

	①	②	③
ア	問題の発見	データの整理	振り返り
イ	問題の発見	データ収集	発表
ウ	問題設定	データの整理	発表
エ	問題設定	データ収集	振り返り

問 7 ある自然数 a の a 自身を除く全ての約数の和が a に等しいとき、 a は完全数である。例えば、6 の約数は 1, 2, 3, 6 なので、6 は完全数である。完全数であるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

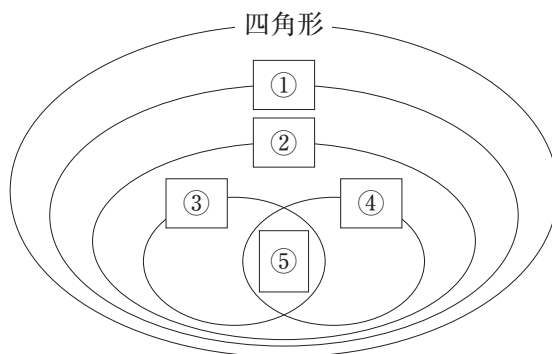
- ア 1
- イ 12
- ウ 28
- エ 120

問 8 次の図は、麻の葉模様と呼ばれるもので、正六角形が18個の合同な二等辺三角形で敷き詰められている。1回の回転移動で、 $\triangle BCH$ を $\triangle OFL$ に重ねるためには、どの点を中心として何度回転移動すればよいか。正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア 点Iを中心として、時計回りに 120° 回転移動する。
- イ 点Dを中心として、時計回りに 60° 回転移動する。
- ウ 点Gを中心として、反時計回りに 120° 回転移動する。
- エ 点Aを中心として、反時計回りに 60° 回転移動する。

問 9 次の図は、四角形の包摂関係を示したものである。図中の①～⑤に当てはまる四角形の名称の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|-----|-------|-------|-----|-----|
| ア | 正方形 | 長方形 | 平行四辺形 | ひし形 | 台形 |
| イ | 台形 | 平行四辺形 | 長方形 | ひし形 | 正方形 |
| ウ | 台形 | 平行四辺形 | 正方形 | 長方形 | ひし形 |
| エ | 正方形 | 長方形 | 平行四辺形 | 台形 | ひし形 |

問10 容積の単位換算について正しいものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア $10 \text{ cm}^3 = 0.01 \text{ dL}$

イ $100 \text{ cc} = 100 \text{ mL}$

ウ $100 \text{ L} = 0.01 \text{ m}^3$

エ $0.01 \text{ L} = 1 \text{ mL}$

理 科

問 1 第3学年の内容「光と音の性質」を扱う単元では、「物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること」などを学習する。音の伝わり方に関する基本的な性質として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 空気中を伝わる音の速さは、温度に関係なく一定である。
- イ 音の伝わる速さは、空気中よりも水中の方が遅い。
- ウ 音の大きさと音の高さは、直接的には関係がない。
- エ 空気中を伝わる音の速さは、気圧や湿度に関係なく一定である。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第6学年〕 2 内容 A 物質・エネルギー (4) 電気の利用」に示された指導すべき内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができること。
- イ 電気は、光、音、熱、運動などに変換することができること。
- ウ 電熱線の発熱量は、その太さによって変わること。
- エ 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があること。

問 3 第6学年の内容「燃焼の仕組み」を扱う単元では、燃焼後の二酸化炭素の増加を、石灰水の白濁によって確認することがある。石灰水の原料として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 酸化カルシウム
- イ 炭酸カルシウム
- ウ 水酸化カルシウム
- エ 塩化カルシウム

問 4 第 5 学年で「物の溶け方」を学習する。「水溶液」として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 食塩水
- イ コーヒーシュガーを溶かした水
- ウ ミョウバンを溶かした水
- エ 牛乳

問 5 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 6 学年〕 2 内容 A 物質・エネルギー (2) 水溶液の性質」に示された指導すべき内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること。
- イ 水溶液には、酸性、アルカリ性のものがあり、混ぜると中和して塩ができること。
- ウ 水溶液には、気体が溶けているものがあること。
- エ 水溶液には、金属を変化させるものがあること。

問 6 第 4 学年の内容「人の体のつくりと運動」を扱う単元では、筋肉について学習する。筋肉に関する内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 人体には、横紋筋、平滑筋、心筋の 3 種類の筋肉がある。
- イ 横紋筋は、意志によって動かすことができ、骨につながっている。
- ウ 平滑筋は、内臓や血管の壁にあり、意志に無関係に動いている筋で、自律神経によって支配されている。
- エ 心筋は、主に心臓にある筋肉であり、他にも肺などのように周期的な動きを行う臓器に使われている。

問 7 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年〕 2 内容 B 生命・地球 (1) 植物の発芽, 成長, 結実」に示された指導すべき内容として適切でないものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 植物は, 種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には, 水, 空気, 日光及び温度が関係していること。

ウ 植物の成長には, 日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり, 花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり, 実の中に種子ができること。

問 8 第 6 学年の内容「植物の養分と水の通り道」を扱う単元では, 「植物の葉に日光が当たるとでんぶんができること」を学習し, 光合成について学ぶ。光合成に関する内容として適切なものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 緑色ではない部分が入る葉をふ入りの葉と呼ぶが, 葉緑素が抜け落ちたふ入り部分では, 光合成は行われない。

イ 梅干しなどを漬けるときに使うアカジソには葉緑素はなく, 光合成は行われない。

ウ シダ類は, 日陰でも育つ特別な機能をもつため, 通常は光合成を行っていない。

エ 緑色の光を当てると, 他の色の光を当てるとよりも光合成が盛んになる。

問 9 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年〕 2 内容 B 生命・地球 (3) 流れる水の働きと土地の変化」に示された指導すべき内容として適切でないものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 水は, 高い場所から低い場所へと流れて集まること。

イ 流れる水には, 土地を侵食したり, 石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。

ウ 川の上流と下流によって, 川原の石の大きさや形に違いがあること。

エ 雨の降り方によって, 流れる水の速さや量は変わり, 増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。

問10 第4学年で「天気の様子」を学習する。気象用語として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「快晴」とは、雲量0～1の状態をいう。

イ 「曇り」とは、雲量9～10の状態をいう。

ウ 「雨」とは、大気中の水蒸気が高所で凝結し、水滴となって地上に落ちるもののことである。

エ 「雲」とは、空気中の水蒸気が高く空に浮いているもののことである。

生 活

問 1 第 1 学年において「学校となかよしになろう」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア みんなで気持ちよく生活するためのきまりやマナーなどについて、適応指導として児童に教え込んでいくのではなく、具体的な活動の中で学校生活に必要な習慣や技能等を学ばせていく。

イ 児童に、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々や、それらが社会とどのように関わっているかを考えさせるようにする。

ウ 学校の施設や利用している通学路にあるものを見付けたり、そこにいる人と触れ合ったりするなどして、学校に自分の居場所を見付け、安心して学校生活を送ることができるようにする。

エ 児童を取り巻く環境が変化する中、安全については、自然災害、交通災害、人的災害の三つの災害に対する安全確保に配慮する必要がある。

問 2 第 1 学年において「こうえんにたんけんにいこう」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 自然と直接触れ合う中で、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚などを使って自然の素晴らしさを十分に味わう活動ができるようにする。

イ 本単元で取り上げるべき身近な自然は、児童が繰り返し関わることのできる自然であるとともに、特定の季節を実感するのにふさわしい自然である。

ウ 児童が観察する身近な自然の対象として、生き物や草花、樹木などのほかに、水、雨、風、光なども対象となる。

エ 活動を通して、身近な自然の共通点や相違点、季節の移り変わりに気付いたり、季節の変化と自分たちの生活との関わりに気付いたりすることができるようにする。

問 3 第2学年において「野さいをそだてよう」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第2学年の児童でも栽培が容易で、成長の様子や特徴が捉えやすい野菜を選択する。

イ 種をまいたり苗を植えたりしてから収穫まで継続して観察したり世話をしたりすることができ、確かな実りを実感でき満足感や成就感を得られるものにする。

ウ 収穫した物を使って、友達と調理をしたり会食したりすることができる場を単元計画の中に必ず位置付ける。

エ 児童の生活場面での動きを考えて、野菜の鉢は、登校してきた児童や、休み時間に外に出た児童が、栽培している野菜を見ることができる場所に置く。

問 4 第2学年において「町たんけんをしよう」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 児童にとって身近な生活圏を踏まえながら、常に地域全体を視野に入れ、より広く地域を知る機会となるようにする。

イ 本単元で取り上げる人々は、自分の家や学校の周りの田や畑、商店などで働く人、公園や公民館などを利用している人、幼稚園や保育所などの幼児や先生、近隣の人などである。

ウ 実際に地域に出掛け、親しみや愛着をもつ人や場所を増やし、地域は安心して生活できる場であると感じられるようにする。

エ 地域の人々の協力を得て児童が主体的に活動できるよう、地域の人々に学習のねらいを丁寧に説明し、共通理解を図るようにする。

問 5 第 2 学年において「みんなでつかおう 町のしせつ」という単元の授業を行うことになった。授業を行う際の留意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 児童に公共施設等を利用させることで、身の回りにはみんなで使うものやみんなのための場所があり、「自分」と「みんな」という意識をもてるようにする。

イ 本単元で取り上げる公共施設としては、公民館、児童館、図書館などの大きな施設が望ましい。

ウ 公共施設は、多くの人々が利用していること、そうした人々が利用しやすいようにするための利用方法やきまり、それを支える人々の存在があることに気付かせる。

エ 見学したり利用したりした公共施設には、児童の側からの創造的な働きかけを大切にして、お礼の手紙を書いたり、育てた花を届けたりする。

問 6 第 1 学年において「はる 見つけた」という単元の授業を行った。児童が見つけた春先の道端に咲く花、花壇に咲く花、樹木の花の組合せとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	道端に咲く花	花壇に咲く花	樹木の花
ア	ホトケノザ	スイセン	コブシ
イ	ハコベ	クロッカス	キンモクセイ
ウ	オオイヌノフグリ	サルビア	ハナミズキ
エ	ヘクソカズラ	フリーズア	サザンカ

問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 生活科の目標 第 1 節 教科目標 2 教科目標の趣旨 (3) 自立し生活を豊かにしていくこと」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 自立とは、一人一人の児童が幼児期の教育で育まれたことを基礎にしながら、将来の自立に向けてその度合を高めていくことを指す。

イ 学習上の自立とは、自分にとって興味・関心があり、価値があると感じられる学習活動を自ら進んで行うことができるということであり、自分の思いや考えなどを適切な方法で表現できるということである。

ウ 生活上の自立とは、生活上必要な習慣や技能を身に付けて、身近な人々、社会及び自然と適切に関わることができるようになり、自らよりよい生活を創り出していくことができるということである。

エ 精神的な自立とは、自分の短所に気付き、現在及び将来における自分自身の在り方を求めていくことができるということである。

問 8 『小学校学習指導要領解説』の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 1 節 生活科における指導計画と学習指導の基本的な考え方 2 学習指導の特質」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 学習対象との適切な出会いの場を用意し、児童の思いや願いを育み、意欲や主体性を高める学習活動にする。

イ 児童の身近な生活圏を活動や体験の場や対象にし、本来はそれぞれ別個の存在である人や社会、自然と身体を通して直接関わりながら活動や体験を行うことを重視する。

ウ 活動や体験の中で感じたり考えたりしている児童の姿を丁寧に見取り、働きかけ、活動の充実につなげる。

エ 表現したり行為したりすることを通して、働きかける対象についての気付きとともに、自分自身についての気付きをもつことができるようにする。

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 3 節 単元計画の作成 2 単元の構想と単元計画の作成」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 発想する段階では、児童の興味・関心を把握し、児童の思いや願いが高まる可能性のある対象を選定し、学習材のよさが引き出されるようにする。

イ 地域は児童にとって生活の場であり学習の場であるから、地域の文化的・社会的な素材や活動の場などを見いだす観点から地域の環境を繰り返し調査し、それらを学習材として最大限に生かす。

ウ 構想する段階では、意図した学習を効果的に生み出すために、教師の願いに重きを置くのではなく、児童の興味・関心に比重を置く。

エ 計画する段階では、単に活動や体験を繰り返すのではなく、話し合いや交流、伝え合いや発表などの表現活動を適切に位置付ける。

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第 1 章 総説 2 生活科改訂の趣旨及び要点」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 生活科の学習活動では、「見付ける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」などの多様な学習活動が重視されている。

イ 幼児期の教育との連携や接続を意識したスタートカリキュラムについては、生活科固有の課題として取り組むことが求められている。

ウ 具体的な活動や体験を通じて、「身近な生活に関する見方・考え方」を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することが明確化されている。

エ 生活科では、児童の生活圏を学習の対象や場とし、それらと直接関わる活動や体験を一層重視することが引き続き求められている。

音 楽

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示された内容の取扱いについて配慮すべき事項として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 和音の指導に当たっては、合唱や合奏などの活動を通して和音のもつ表情を感じ取ることができるようにする。また、長調及び短調の曲においては、I、IV、V及びV7などの和音を中心に指導する。

イ 児童が主体的に学習に取り組めるよう、コンピュータや教育機器を効果的に活用する。

ウ 我が国や郷土の音楽の指導に当たっては、音源や楽譜等の示し方、伴奏の仕方、曲に合った歌い方や楽器の演奏の仕方などの指導方法を工夫する。

エ 拍子記号については、4分の2拍子・4分の3拍子・4分の4拍子・8分の3拍子を理解し、活用できるよう取り扱う。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 3 内容の取扱い」において、第 5 学年及び第 6 学年で取り扱う歌唱共通教材として示されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア もみじ

イ ふるさと

ウ 子もり歌

エ こいのぼり

問 3 次の楽譜は、ある歌唱教材曲の一部分である。※の部分のコードネームを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア C9 イ D7 ウ F#m エ Am7

問 4 問 3 の曲と異なる拍子の曲を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 文部省唱歌 《ふじ山》
 イ 梁田貞作曲 《とんび》
 ウ 船橋栄吉作曲 《まきばの朝》
 エ 岡野貞一作曲 《おぼろ月夜》

問 5 問 3 の曲の調の属調を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ニ長調 イ ロ短調 ウ ホ短調 エ ハ長調

問 6 問 3 の曲名を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 春がきた
 イ 茶つみ
 ウ 虫のこえ
 エ スキーの歌

图画工作

問 1 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容 A 表現」の(2)の技能についての指導事項に関する記述である。空欄 ①～⑤ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A 表現 (2) ア	造形遊びをする活動を通して、身近で ① 材料や用具に十分に ② とともに、並べたり、つないだり、 ③ するなど ④ の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。
A 表現 (2) イ	絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で ① 材料や用具に十分に ② とともに、 ④ の感覚などを働かせ、表したいことを基に ⑤ を工夫して表すこと。

- [語群] A 扱いやすい B 積んだり C 手や体全体
 D 親しみのある E 表し方 F 慣れる
 G 手や指先 H 重ねたり I アイデア J 親しむ

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	D	J	B	G	I
イ	A	F	B	C	E
ウ	A	J	H	G	E
エ	D	F	H	C	I

問 2 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」における第1～6学年の「2 内容 A 表現 (1) イ」の記述の一部である。空欄 ① ～ ⑤ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第1学年 及び 第2学年	絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けることや，好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。
第3学年 及び 第4学年	絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付けることや，表したいことや ①などを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えること。
第5学年 及び 第6学年	絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したこと，見たこと， ②から，表したいことを見付けることや，形や色，材料の ③， ④の美しさなどの感じ， ①などを考えながら，どのように ⑤を表すかについて考えること。

- [語群] A 特徴 B 用途 C 質感 D 伝え合いたいこと
 E イメージ F 目的 G 構成 H 主題
 I テーマ J 考えたこと

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	B	D	A	G	H
イ	F	J	C	G	I
ウ	I	D	A	C	E
エ	B	J	C	E	I

- 問 3 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕
2 内容 B 鑑賞 (1) ア」の記述の一部である。内容の趣旨として適切でないものを、下の
ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。

- ア 「自分たちの作品」とは、自分たちが現在つくりつつある作品のほかに、参考となる上級生・卒業生の過去の作品や教科書に掲載された作品などを指す。
- イ 「我が国や諸外国の親しみのある美術作品」とは、国や地域、文化、時代、風土、作者の個性などが関わって創造され、固有のよさや美しさを醸し出している美術作品のことである。
- ウ 「生活の中の造形」とは、作品と呼ぶようなものだけに留まらず、食器や家具、衣服、用具、パッケージ、ポスター、伝統的な工芸品、建物など、児童を取り巻く生活の中にある様々な造形のことを示している。
- エ 「感じ取ったり考えたりし」とは、自分たちの作品や美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさなどを、自分なりに味わったり、改めて検討したりしている姿のことである。

- 問 4 低学年における「立体に表す」活動で、「ごちそうパーティーをはじめよう(油粘土を使ってごちそうをつくろう)」という授業を行う。その際に配慮する事項として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 導入で粘土を「くるくる」「ぎゅっと」などの言葉を使って、「丸める」「薄く伸ばす」「ひも状に伸ばす」「ねじる」「つまみ出す」「握る」などの粘土の形の変え方を楽しく学べるように工夫する。
- イ 「ごちそう」という言葉から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形を考えたりしながら、どのように表すかを考えるようにする。
- ウ グループで活動することにより、活動中に友達のつくった「ごちそう」を見ながら発想を広げたり、表し方を考えたりできるようにする。
- エ 完成した作品は焼成することにより、長期間保存することができる。また、残った油粘土は乾燥しないように一つに丸めて袋に入れて保存することにより、再度利用することができるようにする。

問 5 中学年における「工作に表す」活動で、「ゴムゴムパワー(ゴムの力で動くおもちゃづくり)」という授業を行う。その際に配慮する事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ゴムの力で動く仕組みは難しいため、最初に全員で基本となる同じ材料を使い、同じ仕組みをつくることにより、個人で試す時間を節約できるようにする。

イ ゴムの力で動く仕組みを理解し、その動きからつくりたいものをイメージできるように支援する。

ウ 容器に切り込みを入れたり、細かな飾りをつくったりするときは、はさみやカッターナイフなどの用具を適切に選択し、安全に取り扱うように注意する。

エ 互いの作品で遊ぶ場を設け、作品のよさを認め合ったり、つくり出す喜びを分かち合ったりできるようにする。

問 6 混色について、次の文章中の空欄 ① ~ ⑤ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群ア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

絵の具は、一般的に赤・青・黄の三つの色の混色によって様々な色彩をつくり出すことができる。例えば、赤と青を定量で混ぜ合わせることで ① が得られ、青と黄を定量で混ぜ合わせると ② を得ることができる。赤と黄を定量で混ぜ、そこへ青を少量ずつ加えることで ③ を得ることができる。また、テレビモニター等に表される色光の混色では、例えば、赤色光と緑色光を定量で混ぜ合わせると ④ 色光が得られ、色光の三原色全てを定量で混ぜ合わせることで ⑤ 色光を得ることができる。

[語群] A 紫 B 橙^{だいだい} C 黄 D 緑
 E 茶 F 黒 G 白

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	A	E	D	B	F
イ	A	D	E	C	G
ウ	E	B	D	C	G
エ	E	D	F	A	C

問 7 クレヨンやパスについて、次の文章中の下線部①~⑤のうち誤っている記述が幾つあるかを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

クレヨンやパスは広い面を一気に描き出すことに適している。また、絵の具等のように色材以外の画材や用具を必要としないため、身体感覚に近い直接的な描写を行うことが可能である。しかしながら、市販されているものは8色程度と色数が少なく、工夫が必要となる場合が多い。特にパスを使った描写の工夫としては、線の重なりによって色を重ねることや、塗り重ねた色を指で擦るといったこと等が挙げられる。持ち方や使用方法に定まった方法はないため幼児から使用可能であり、多様な描写が可能な材料である。

ア 三つ イ 二つ ウ 一つ エ なし

問 8 次の文章は、工作のもつ教育的意義について述べたものである。文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句を下の語群から選択し、その組合せとして正しいものを、解答群 ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

小学校図画工作科の「工作」は、中学校では「デザイン・工芸」につながるものであることから分かるように、そこには小学生なりの「①」「②」「用途」が内包されている。よく「③」と「④」の調和といわれるが、工作には「③」つまり「②」や「用途」とともに、「④」つまり自分にとっての「よさ」や「美しさ」が求められるのである。このことを子供の側から素朴に言い換えるならば、工作の「楽しさ」とは、「自分が楽しい」と「他者が楽しい」ことが一体化している点にあり、これこそが工作のもつ教育的意義であるだろう。

[語群] A 用 B 構想 C 機能 D 発想
 E 手 F 目的 G 美 H 感覚

[解答群]

	①	②	③	④
ア	C	F	E	H
イ	B	D	A	C
ウ	F	C	A	G
エ	G	D	F	B

問 9 「立体に表す」活動における焼成する際の注意事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 粘土で成形した作品は、焼成する前に十分に乾燥させる。作品全体が均一に乾燥しないと形の歪みや割れの原因につながる。
- イ 焼成は粘土の化学変化を促すことであるためゆっくり温度を上昇させ、また、ゆっくりと冷まさなければならない。
- ウ 素焼の場合、特に 100～400℃ までは作品の水分を完全に抜くため 1 時間に 200℃ くらいを目安として温度を上昇させ、その後、1 時間に 100℃ くらいを目安として 800℃ 程度までゆっくりと昇温する。
- エ 本焼の焼成温度は楽焼だと 800～1,000℃、陶器や磁器の場合は 1,230～1,300℃ で焼かれるのが一般的である。

問10 「工作に表す」活動において、木材を加工する際に使用する用具の説明として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア サンドペーパーは番号が小さいほど目が粗く、番号が大きいほど目が細かい。
- イ きりは釘を打つ際や糸のこぎりでの作業の下穴を空ける際に使用する。いろいろな種類があり、先端の形が異なる。図画工作科では主に三つ目きり、四つ目きりを使用する。
- ウ のこぎりは縦びき刃と横びき刃があり、縦びき刃は主に木材の木目に対して直角方向に切断する場合に使い、横びき刃は主に木材の木目に沿った方向に切断する場合に使用する。
- エ 彫刻刀には刃の形状によって丸刀、平刀、三角刀、切り出し刀などの種類があり、使用する際には彫刻刀を持っていない方の手も必ず柄に添えて彫るようにし、刃の前に手が出ないようにする。

家 庭

問 1 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 実習の指導」に示された内容である。文中の空欄 ① ～ ④ に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

生の魚や肉については調理の ① を学習していない小学校の段階では、生の魚や肉の ② が生じやすく、食品や調理器具等の ③ な取扱いが難しいことから、④ ようにする。

	①	②	③	④
ア	技能	加熱不足	安全	注意する
イ	基礎	腐敗	衛生的	注意する
ウ	基礎	加熱不足	衛生的	用いない
エ	技能	腐敗	安全	用いない

問 2 近年の家庭を取り巻く環境の変化として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 共働き世帯は増加傾向にある。
- イ 2015(平成 27)年以降の第一子出生時の母の平均年齢は、30 歳を超えている。
- ウ 2021(令和 3)年度において、児童相談所での児童虐待相談の内容で一番多いのは身体的虐待である。
- エ 1989(平成元)年以降、夫婦のみの世帯は増加傾向にあり、夫婦と未婚の子のみの世帯は減少傾向にある。

出典：「男女共同参画白書」(令和 4 年内閣府男女共同参画局)
「令和 3 年(2021)人口動態統計月報年計」(令和 4 年厚生労働省)
「2021 年 国民生活基礎調査」(令和 4 年厚生労働省)
「令和 3 年度児童相談所での児童虐待相談対応件数」(令和 4 年厚生労働省)

問 3 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 1 節 家庭科の目標」の記述の一部である。文中の空欄 ① ～ ③ に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

日常生活に必要な基礎的な理解を図るとは、家庭科で習得する ① が、② だけではなく、児童が学ぶ過程の中で、③ や生活経験と結び付けられ、家庭科における学習内容の本質を深く理解するための概念として習得され、家庭や地域などにおける様々な場面で活用されることを意図している。

	①	②	③
ア	日常生活に必要な知識	個別の事実的な知識	既存の知識
イ	個別の事実的な知識	既存の知識	日常生活に必要な知識
ウ	既存の知識	日常生活に必要な知識	個別の事実的な知識
エ	日常生活に必要な知識	既存の知識	個別の事実的な知識

問 4 「調理の基礎」に関する学習で、みそ汁の調理実習をすることになった。みそ汁の調理の仕方として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「だし」の材料は動物性、植物性ともにあり、調理に応じて使い分ける。
- イ 「みそ」の塩分は汁全体で塩分濃度が 2 % になるように、「みそ」の量を調整する。
- ウ 「だし」をとる際には沸騰するまで強火にした後で火を弱め、4～5分程度加熱する。
- エ 「みそ」を入れた後に沸騰させ続けるなど、加熱しすぎないようにする。

問 5 「1食分の献立を立てて調理しよう」という単元の授業を行うことになった。児童に提示する料理の組合せ例として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	主食	主菜	副菜	汁物
ア	ご飯	豆腐とウインナーの チャンプル	切り干し大根と にんじんのいため物	なめこ汁
イ	トースト	具たくさんオムレツ	ポテトサラダ	コーンスープ
ウ	ご飯	たらのムニエル	青菜のごまあえ	けんちん汁
エ	バターロール	具入りスクランブルエッグ	温野菜の オーロラソースがけ	野菜スープ

問 6 あなたは「環境に配慮した物の使い方」を扱う単元の授業を計画している。このことに関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「環境に配慮した物の使い方」の学習を通して、使い終わった物を他の用途に再利用することが必要であることを児童が理解できるようにする。

イ 実習材料の無駄のない使い方について児童が発表し合うことを通して、使い方を見直す実践的な学習活動が考えられる。

ウ リサイクル活動等の環境に配慮した地域の取組を調べ、実際に地域の活動に対して協力する活動を取り入れることもできる。

エ 水・電気・ガス・実習材料等の使い方を振り返り、資源やエネルギーなどの適切な消費と生産について考えることができるようにする。

問 7 日常着の洗濯に関連して、次の取扱い表示の意味として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



- ア 手洗いをする。
- イ 洗濯機で洗ってよい。
- ウ つり干し乾燥がよい。
- エ 日陰でのつり干し乾燥がよい。

問 8 ミシンの「はずみ車」の説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 布を手前に動かし、返し縫いをする。
- イ 縫うときに下げて、布を押さえる。
- ウ モーターと連動して回り、針を上下させる。
- エ 縫い目の長さを調節する。

問 9 「季節の変化に合わせた住まい方」を扱う単元で、採光に関する授業を行うことになった。住宅の照度基準として、子供室での勉強・読書に最も適している照度を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 350(lx)
- イ 750(lx)
- ウ 1,500(lx)
- エ 2,000(lx)

問10 「住まいの清掃の仕方」に関する授業の中で、畳の掃除・管理方法を扱うことになった。次の

①～④の文の正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 住居用洗剤を使って洗う。
- ② 湿った茶殻を撒^まいてから掃く。
- ③ 掃除機は畳の目の垂直方向に動かす。
- ④ 定期的に畳を干す。

[解答群]

	①	②	③	④
ア	×	○	×	○
イ	○	×	○	×
ウ	×	○	○	○
エ	○	○	○	×

体 育

問 1 「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示された内容の取扱いについて誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 運動領域におけるスポーツとの多様な関わり方や保健領域の指導については、具体的な体験を伴う学習を取り入れるよう工夫すること。
- イ コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、各領域の特質に応じた学習活動を行うことができるように工夫すること。
- ウ 筋道を立てて練習や作戦について話し合うことや、身近な健康の保持増進について話し合うことなど、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すための言語活動を積極的に行うことに留意すること。
- エ オリンピック・パラリンピックに関する指導として、チャンピオンシップ・スポーツであることを大切にするなど、児童が夢中になれるように、各種の運動において競争が生まれるように工夫すること。

問 2 体づくり運動に関する次の文章中の空欄 ① ～ ⑤ に当てはまる正しい語句の組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

体づくり運動の「体ほぐしの運動遊び」、及び「体ほぐしの運動」の授業づくりの考え方として、低学年では ① を目指すのではなく、手軽な運動や ② を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わえるようにすることを心掛ける必要がある。中学年ではペアやグループ等、活動形態を工夫し、③ が広がったり、仲間と豊かに交流できるようにしたりすることが大切である。高学年では ④ を整えたり、自分の ⑤ の変化に気付いたりすることを大切にする。

	①	②	③	④	⑤
ア	技能の向上	律動的な運動	動きの楽しみ方	体の調子	心と体
イ	巧緻性の向上	反復的な運動	友人関係	心の調子	体
ウ	柔軟性の向上	弾性的な運動	人間関係	心身の調子	気分
エ	技術の向上	静的な運動	体の可動域	体調	心

問 3 『小学校学習指導要領解説』における中学年の「体づくり運動」領域の「多様な動きをつくる運動」の例として示されていないものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ゴムひもを張りめぐらせてつくった空間や，棒の下や輪の中をくぐり抜けること。
- イ 短なわで跳びながら，歩いたり走ったりすること。
- ウ 補助を受けながら竹馬や一輪車に乗ること。
- エ 人数を変えて綱引きをすること。

問 4 跳び箱が苦手な児童に対する指導方法の説明として誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 開脚跳びが苦手な児童に対しては，同じ授業内で，台上前転 → 開脚跳びの順番で指導する。
- イ かかえ込み跳びが苦手な児童に対しては，踏み切り位置を高くして腰を上げやすくしたり，着地地点にマットを重ねて敷いて抵抗感を低減したりするなどの場の工夫をする。
- ウ 台上前転が苦手な児童に対しては，跳び箱の両側にマットを敷いたり，着地地点に柔らかいマットを設置したりすることで安心して取り組めるようにする。
- エ 日常的に馬跳びやタイヤ跳びなどの遊びに取り組めるようにし，動きや感覚を体験させる。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」に示された第1学年及び第2学年の目標について、次の各文中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる正しい語句の組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

1 目 標

(1) ① , その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。

(2) ② を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。

(3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、 ③ 。

	①	②	③
ア	各種の運動遊びの楽しさに触れ	自己の運動や身近な生活	意欲的に運動をする態度を養う
イ	各種の運動の楽しさや喜びに触れ	各種の運動遊びの行い方	健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う
ウ	各種の運動遊びの楽しさに触れ	各種の運動遊びの行い方	意欲的に運動をする態度を養う
エ	各種の運動の楽しさや喜びに触れ	自己の運動や身近な生活	健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う

問 6 『小学校学習指導要領解説』に示された陸上運動系の指導内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 走ったり跳んだりする動き自体の面白さや心地よさを引き出す指導を基本にしながら、体力や技能の程度にかかわらず競走(争)に勝つことができたり、勝敗を受け入れたりするなどして、意欲的に運動(遊び)に取り組むことができるように、楽しい活動の仕方や場を工夫することが大切である。
- イ 「内容の取扱い」に「投の運動(遊び)」を加えて指導することができるが、その際は遠くに力一杯投げることには指導の主眼を置き、投の粗形態の獲得とそれを用いた遠投能力の向上を図ることが主な指導内容となる。
- ウ 陸上運動の学習指導では、合理的な運動の行い方を大切にしながら競走(争)や記録の達成を目指す学習活動が中心となるが、競走(争)では勝敗が伴うことから、できるだけ多くの児童に勝つ機会が与えられるように指導を工夫するとともに、その結果を受け入れることができるよう指導することが大切である。
- エ 記録を達成する学習活動では、自己の能力に適した課題をもち、勝手な判断をせずに教師からのアドバイスを守り、記録を高めることができるようにすることが大切である。

問 7 低学年の「表現リズム遊び」の授業で「表現遊び」を扱う際に取り上げる題材について、『小学校学習指導要領解説』に基づく内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 身近な生活の中から多様な感じの動きを含む題材 : 例)「洗濯」
- イ 特徴が捉えやすく速さに変化のある動きを多く含む題材 : 例)「飛行機」
- ウ 多様な変化に富んだ空想の世界からの題材 : 例)「ジャングル探検」
- エ 生活や自然などから群(集団)が生きる題材 : 例)「スポーツの攻防」

問 8 病気の発生要因や予防の方法に関する記述として誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には，適切な運動，栄養の偏りのない食事を取ることを，口腔の衛生を保つことなど，望ましい生活習慣を身に付ける必要がある。

イ 喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となる。

ウ 地域では，保健に関わる様々な活動が行われている。

エ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことが重要であり，体の抵抗力を高めることとは無関係である。

問 9 次の文中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる正しい語句の組合せを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

低学年のボールゲームでは，簡単なボール操作と簡単な攻めや守りの動きなどの ① によって，コート内で攻守入り交じって，的やゴールに向かってボールを投げたり蹴ったりする ② で行われる ③ ，攻めと守りが分かれたコートで，相手コートに ④ ② で行われる ③ ，攻めと守りを交代しながら，ボールを手などで打ったり，蹴ったりする ② で行われる ③ などをする。

	①	②	③	④
ア	ボールを操作する動き	簡易な規則	楽しめるゲーム	ボールを投げ入れる
イ	ボールを操作する動き	簡単な規則	易しいゲーム	ボールを打ち込んだりする
ウ	ボールを持たないときの動き	簡単な規則	易しいゲーム	ボールを投げ入れる
エ	ボールを持たないときの動き	簡易な規則	楽しめるゲーム	ボールを打ち込んだりする

問10 次の文章中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる正しい語句の組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

中学年の水泳運動について、① では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること、② では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな③ をすることが求められる。その際、自己の能力に適した課題を見付け、④ を身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることが求められる。

	①	②	③	④
ア	水中を進む運動	息継ぎ	水中運動	簡単な泳法
イ	浮いて進む運動	もぐる・浮く運動	もぐり方や浮き方	水の中での動き
ウ	水中を進む運動	もぐる・浮く運動	もぐり方や浮き方	簡単な泳法
エ	浮いて進む運動	息継ぎ	水中運動	水の中での動き

外国語(英語)

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 4 章 外国語活動 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容〔第 3 学年及び第 4 学年〕〔思考力, 判断力, 表現力等〕」に基づく指導内容として適切でないものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 相手の反応を確かめたり, 反応を感じたりするよう指導する。
- イ 相手の考えと自分の考えを比較し, 共通点や相違点に気づくよう指導する。
- ウ 相手により理解してもらうために, ゆっくり話すなどの工夫をするよう指導する。
- エ 相手により理解してもらうために, 動作を交えるなどの工夫をするよう指導する。

問 2 外国語活動における文字の扱いについて適切なものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 活字体で書かれた大文字及び小文字を識別し, その読み方を発音することができるようにする。
- イ 文字の読み方が発音されるのを聞いて, どの文字であるかが分かるようにする。
- ウ 大文字, 小文字を活字体で書くことができるようにする。
- エ アルファベットの順番を正しく理解することができるようにする。

問 3 次の文は, 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標」に示されている内容である。文中の空欄 に当てはまる語句を, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(4) 話すこと〔発表〕

ウ 身近で簡単な事柄について, 伝えようとする内容を 上で, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

- ア 整理した
- イ 精選した
- ウ 考えた
- エ 取捨選択した

問 4 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 各教科 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔知識及び技能〕(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声」に基づく指導内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 語と語を連続して発音することで音の変化が起こること。
- イ 母音や子音の種類や数が英語と日本語では異なっていること。
- ウ 文によって適切なイントネーションがあること。
- エ いくつかのまとまりに区切って話したり読んだりされることがあること。

問 5 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 外国語・外国語活動』（令和 2 年 3 月国立教育政策研究所）に示された外国語・外国語活動における評価に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 一つの単元ですべての領域について評価しなくてもよい。
- イ 一つの単元ですべての観点について評価しなくてもよい。
- ウ 一時間の授業の中の、どこかの活動において児童の学習状況を記録に残す必要がある。
- エ たとえ記録に残さない活動であっても、教師は児童の学習状況を確認し、適切な補いをする必要がある。

問 6 第一アクセント(第一強勢)の位置が正しくないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア calendar
- イ elevator
- ウ guitar
- エ helicopter

問 7 「皆さん、定規を持っていますか」という問いかけの英文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア Do everyone have a ruler?
- イ Are everyone have a ruler?
- ウ Is everyone have a ruler?
- エ Does everyone have a ruler?

問 8 次の英文において、誤りを含む表現例を、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア I have some information for you.
- イ We watched a soccer game. I was so exciting!
- ウ I wonder what really happened to him.
- エ We discussed the camping plan together.

問 9 次の英文は、外国語学習について述べたものである。「年齢」に関する要因について書かれているものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

Muriel Saville-Troike(2006).
Introducing Second Language Acquisition

許諾を得ておらず不掲載

問10 次の英文を読んで、文中の空欄 ① ~ ④ に当てはまる語句の正しい組合せを、
下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

Bill VanPatten & Alessandro G. Bebatu (2015).
Key Terms in Second Language Acquisition

許諾を得ておらず不掲載

	①	②	③	④
ア	distinction	quantity	input	theory
イ	distinction	level	portfolio	theory
ウ	difference	quantity	portfolio	classrooms
エ	difference	level	input	classrooms